

- 医療コンテナ等を活用したODAによる支援の現状に関し、新型コロナの収束、そして今後のパンデミックに対する備えとして、14か国に対する医療コンテナ・プレハブを含む医療機材の整備や技術支援を決定済み。

【巡回医療等を目的とした医療コンテナを含む医療機材の整備】

ウズベキスタン、キルギス、コンゴ(民)、サモア、ソロモン、ミクロネシア、パプアニューギニア

【医療コンテナ・プレハブを含む医療機材の整備と遠隔ICUシステムを活用したソフト支援の連携】

インドネシア、ケニア、セネガル、トンガ、パラオ、メキシコ、トルクメニスタン

- 医療コンテナ・プレハブの引渡しが完了した国は10か国(インドネシア、ウズベキスタン、ケニア、コンゴ(民)、サモア、セネガル、トンガ、パラオ、ミクロネシア、メキシコ)。

サモアに整備された医療コンテナ回診車



「中央アジア+日本」対話・首脳会合にあわせて展示された医療コンテナをキルギス外務大臣に説明する
国光副大臣

